

事業対象	補助対象 限度額	補助率	
		地方公共団体が実施	民間事業者等が実施
既設エレベーターについて行う、次に掲げる防災対策改修工事 ①地震時管制運転装置の設置 ⑥リスタート運転機能の追加※ ②主要機器の耐震補強措置 ⑦自動診断・回復旧運転機能の追加※ ③戸開走行保護装置の設置 ④釣合おもりの脱落防止措置 ※工事完了後に①～⑤のすべてが整備 ⑤主要な支持部分の耐震化 されている場合に限る。	①～⑤：950万円/台 ⑥、⑦：300万円/台※  ※①の設置に併せて整備する 場合、250万円/台とする。	国：11.5%	国：11.5% 地方公共団体：11.5%  ※地方公共団体において 制度の整備が必要

## 事業要件

### エリア

三大都市圏、人口5万人以上の市、地方公共団体が指定する区域

### 建築物

- 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第2条第18号に規定する特定建築物※であること。
- ※学校、病院、劇場、観覧場、集会場、展示場、百貨店、ホテル、事務所、共同住宅、老人ホーム、その他政令で定める建築物
- 延べ面積1,000㎡(幼稚園、保育所及び地方公共団体等と災害時の協定等を締結されている建築物は500㎡)以上
- エレベーターを修繕項目として定めた長期修繕計画又は維持保全計画を作成していること。
- 構造躯体が地震に対して安全な構造であること(住宅・建築物の耐震改修により安全を確保するものを含む)。

## 防災対策改修工事のイメージ

### <①～⑤の例>

#### ① 地震時管制運転装置の設置

地震発生 → 地震動を感知する装置 → 初期微動(P波) 振動エネルギー：小 伝達速度：速い → 地震発生 → 本震(S波) 振動エネルギー：大 伝達速度：遅い → 本震到達

#### ② 主要機器の耐震補強措置

(綱車からのロープのはずれ防止措置の例) (昇降路内突出物へのロープ等の絡まり防止措置の例)

#### ③ 戸開走行保護装置の設置

通常のプレーキとは別系統により戸開走行時に作動する2つ目のプレーキ

#### ④ 釣合おもりの脱落防止措置

通しボルト 設置事例

#### ⑤ 主要な支持部分の耐震化

昇降路内のレールの変形事例

(参考)エレベーターのしくみ

### <⑥⑦のイメージ>

地震発生

→

運転停止

→

閉じ込め

→

**⑥リスタート運転機能**  
 自動で最寄り階に着床し救出

→

**⑦自動診断・回復旧運転機能**  
 自動診断 → 回復旧

(閉じ込めがない場合)

事業対象	補助対象 限度額	補助率	
		地方公共団体が実施	民間事業者等が実施
既設エレベーターについて行う、次に掲げる防災対策改修工事 ①地震時管制運転装置の設置 ⑥リスタート運転機能の追加 ②主要機器の耐震補強措置 ⑦自動診断・恢復旧運転機能の追加 ③戸開走行保護装置の設置 ④釣合おもりの脱落防止措置 ⑤主要な支持部分の耐震化	①～⑤：950万円/台 ⑥、⑦：300万円/台	国：11.5%	国：11.5% 地方公共団体：11.5%  ※地方公共団体において 制度の整備が必要

## 事業要件

**エリア**

三大都市圏、人口5万人以上の市、地方公共団体が指定する区域

**建築物**

- 地方公共団体と協定を結んだ帰宅困難者又は避難者の受入を行う一時滞在施設であること。
- 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第2条第18号に規定する特定建築物※であること。  
 ※学校、病院、劇場、観覧場、集会場、展示場、百貨店、ホテル、事務所、共同住宅、老人ホーム、その他政令で定める建築物
- 延べ面積1,000㎡(幼稚園、保育所及び地方公共団体等と災害時の協定等を締結されている建築物は500㎡)以上
- エレベーターを修繕項目として定めた長期修繕計画又は維持保全計画を作成していること。
- 構造躯体が地震に対して安全な構造であること(住宅・建築物の耐震改修により安全を確保するものを含む)。

## 防災対策改修工事のイメージ

<①～⑤の例>

① 地震時管制運転装置の設置

地震発生 → 地震動を感知する装置 → 初期微動(P波) 振動エネルギー：小 伝達速度：速い → 地震動感知 → 本震(S波) 振動エネルギー：大 伝達速度：遅い → 本震到達

② 主要機器の耐震補強措置

(綱車からのロープのはずれ防止措置の例) (昇降路内突出物へのロープ等の絡まり防止措置の例)

③ 戸開走行保護装置の設置

通常のブレーキ  
通常のブレーキとは別系統により戸開走行時に作動する2つ目のブレーキ  
メインロープ

④ 釣合おもりの脱落防止措置

レール、上枠、釣合おもり枠、通しボルト、おもりブロック、下枠

釣合おもりに通しボルトを設置した事例

⑤ 主要な支持部分の耐震化

昇降路内のレールの変形事例

巻上機、調速機、制御盤、ガイドレール、かご、乗場ドア、緩衝器

(参考)エレベーターのしくみ

<⑥⑦のイメージ>

```

            graph LR
            A[地震発生] --> B[運転停止]
            B --> C[閉じ込め]
            C -- "(閉じ込めがない場合)" --> D["⑥リスタート運転機能  
自動で最寄り階に着床し救出"]
            D --> E["⑦自動診断・恢復旧運転機能  
自動診断 → 恢復旧"]
            
```